

全学院教職員礼拝

わたしたちのエネルギー

中高宗教主事 大久保 直樹

**あなたがたの内に働いて、御心のままに望ませ、行わせておられるのは神であるからです。
フィリピの信徒への手紙 2章13節**

therapy「治療」、「療法」、「癒しの力」と訳されるこの言葉、聖書においても「イエスはガリラヤ中を回って、諸会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、また、民衆のありとあらゆる病氣や患いを癒された。」(マタイ 4:23)と記されているところの「癒された」と訳されているギリシア語 $\theta \epsilon \rho \alpha \pi \epsilon \upsilon \omega$ に由来します。Aromatherapy(芳香療法)、psychotherapy(心理療法)、music therapy(音楽療法)、animal therapy(動物療法)等、色々な療法によってわたしたちは癒され、また励まされ、歩み直し、生き直すことが可能です。小さなことかも知れませんが、わたしの家では、震災の年に家の庭に迷い込んできた当時赤ちゃん野良猫だった白猫を飼っていますが、その猫がなぜかわたしが帰宅し、シャワーを浴び、遅めの夕食をのんびんだらりんととっていると大抵 22 時を過ぎた頃でしょうか。わたしの座っているとりの椅子にびよこんと座り、なでろなでろとすり寄って来るんですね。父ちゃんのご飯だから…と言いながら、箸をとめて、猫を撫でながら実は自分が癒されている…そんな一日のワンシーンがあります。

人によって癒されるもととなるもの、自分を癒してくれるものは、人と同じ場合もあればもちろん異なることもあります。自然の美しさに感動する人、絵画、彫刻、音楽、映画に感動する人等。わたしは音楽によっても癒されることがよくあります。カナダの作曲家、ピアノ演奏家で、2年ほど前に 84 歳で亡くなったアンドレ・ギャニオンという方がおられます。ヒーリングミュージック、いわゆる癒しの音楽の草分け的存在です。ちょっと一緒に聴いてみましょう。ご紹介する曲は ♪ 愛につつまれて ♪ という曲です。目を閉じてお聴きになられても良いですし、そのまま深い眠りに落ちてくださっても大丈夫です。いろいろなことを思い出される方もおられるかも知れません。とにかくお心のままに過ぎてみてください。

♪ 聴く ♪(CD 再生)

この曲を含むアンドレ・ギャニオンの音楽を聴いた方々から寄せられたコメントをご紹介します。

① 56 歳で脳出血して右麻痺になり、腕も足も右は動かなくなりました。父と母も亡く

なりました。もう死にたいと思ったときにこの曲に出会いました。なんだかまだ頑張らなきゃという気持ちになりました。一日一日精一杯生きようと思いました。本当に素晴らしい曲です。ありがとうございます。

- ② 2 年前に最愛の娘を亡くしました。結婚してまだ一年たたずに逝ってしまいました。未だに毎日淋しいです。「めぐりあい」を聴いているとなぜか悲しいのに心が穏やかになります。この曲を聴きながら娘に「いつかおかあさんが逝ったらいっぱい話そうね」と心の中で話しかけています。
 - ③ なんて美しいメロディなんでしょう！心に優しく触れて癒されます。2月に息子が闘病の末 28 歳の若さで旅立ちました。アンドレさんの曲を聴いていると、病院のベッドの上で「お母さん、愛しているよ…」と言ってくれた息子の声を思い出し涙が溢れてきます。
 - ④ 久し振りに此の名曲集に耳を傾けていて、ふとウクライナの事が頭をよぎりました。ウクライナに爆撃音や悲鳴では無く、優しさに溢れた美しい此のメロディが流れるような平和な街に戻って欲しいなと思います。ウクライナの皆さんが暖かい部屋の中で穏やかに無事に過ごせる日が早く訪れますように。
 - ⑤ 本当に辛いことがあって心が鬱になりかけたほどだったけどこの曲を聴くと癒やされました。本当に美しいです。辛くても毎日頑張って生きたいです。
 - ⑥ この曲を聴いていると、人はなぜ争いや戦いなどをするのかと悲しくなります。穏やかに人の命の大切さを重んじ、たった 1 回の人生を謳歌できるように、共存すればいいのに…。政治家に、この曲を聴いてもらいたい。穏やかな地球、それが皆の望む暮らしなのに…。
 - ⑦ 今日初めて聴きました。素敵なおメロディですね。心が癒されます。2年前大切な主人を突然亡くして、今年大切な母も亡くなり。現実を受け入れなくて信じられなくて、つらく悲しくて涙があふれて皆さんのコメント読んで気持ちが楽になりました。私 69 歳になり少しずつ前に進んで生きていきます。ありがとうございます。
 - ⑧ 心が安らかになりますね。一年前に癌を宣告され、患部が大きく転移もあるので手術も出来ず治療しています。緩和ケアやホスピスの話も出ていて(いずれ来る終末期のこと)まだまだ受け入れられずにいます。若くはないけど来年 60 歳なので神さま少し早くないですかと、そんな傷ついた心を優しく背中をさするような名曲たち。今夜はゆっくり聴きながら眠ります。おやすみなさい。
 - ⑨ 私の母は施設に居ます。コロナ前は毎日会いに行きました。会えなくなり、寂しくて寂しくて…。本当に自分に厳しく人に優しい母でした。今、私の事は解らないみたい。この曲を聞くとあの頃の母にめぐり逢いたい。今、ピアノを習っています。この曲を弾きながら泣いています。
- それでは、「愛につつまれて」という曲をご一緒に聴いてみましょう。

♪ 聴く ♪(CD 再生)

いかがでしたでしょうか。それでは改めて与えられた聖書のみ言葉に今度は耳を傾けたいと思います。初めにご紹介しましたように、イエスは自らの足でガリラヤ中を回り、福音を宣べ伝え、あらゆる病気を癒されたとありましたように、実はわたしたちの人生の様々な場面に来てくださって、そこに共にいてくださって、つまり、動物や音楽、美しい自然に癒されること、あるいは様々な出来事や出逢いなど、わたしたちの人生のあらゆる場面において、わたしたちが歩むべき道を示し、心に平安と癒しを与えてくださるのは他の誰でもない、主イエス・キリストであり、また神である、そしてまた神がお送りくださる聖霊によってわたしたちが日々生かされているんだということを分かち合いたいです。

今日与えられている聖書の言葉に今一度耳を傾けてみましょう。

あなたがたの内に働いて、御心のままに望ませ、行わせておられるのは神であるからです。

さて、いきなり講義のようになって恐縮ですが、みなさんにプリントをお配りいただきました。日本語聖句があって、次に英語聖句。そしてその下に載っているのは、新約聖書の原語であるギリシア語の聖句です。ギリシア語って知らないようで目にしたり、耳にしたりしています。新型コロナウイルス感染症の変異株を世界保健機構 WHO が、アルファ(α)株、ベータ(β)、ガンマ(γ)、デルタ(δ)、オミクロン(Ο)と命名しました。これらアルファ、ベータ、ガンマ、デルタ、オミクロン、すべてギリシア文字です。

さて、聖句に戻ります。今日特に注目したいと思ったのは、赤字の部分です。いかがでしょう。ローマ字読みしてみようとする、初めがe、次が難しいですね、vではなく、nに相当する文字なので、次のeと読めるところまで3つ連続して読もうとすると、「エネ…」と読めます。さあ、想像してみてください。わたしたちの周りで「エネ…」から始まる言葉というか単語にはどんな単語がありますか？「エネ○○○」カタカナ5文字です。正解は「エネルギー」です。とってもとっても大雑把、超簡単に略してしまいますが、でもとってもシンプルで大切なことが実はここでは示されているのです。

わたしは学校の新年度の始まりにあたって、いつも大切なこととして話していることがあります。それは次のようなことです。わたしたち人間はもちろん、自分の考え、思い、願い、祈りを持って生きようとするし、それはとっても尊いことです。同時に、ぜひ知っておいてほしいこと、それは、わたしたちに命を与えてくださり、守り、導いて、道をお示しくださる神さまが・イエスさまが共にいてくださるということです。そんな話を年度の初めにしています。つまりわたしたちの内に働いてくださる方がおられる。生きるエネルギーをくださる、あるいは生きるエネルギーそのものとして、わたしたちの内で働いてくださる神さまがいてくださる。これがシンプルだけど、大切なことです。そして具体的には、神さまが良しとされる神さまの思い＝「御心」、それが英語では his good purpose と表現されていますが、その御心によって生きるように導かれるとき、わたしたちの思いや行いは

神さまのお望みにかなったものとなり、自分が整えられ、他者と共に生きる存在へとされるのです。再び赤字に注目します。神さまがわたしたちの内で働いてくださる、その働きによって、わたしたちの思いや行いが引き出されるのです。日本語の赤字「働いて」、英語の赤字「works」、ギリシア語の赤字「ἐνεργῶν」は神の働きです。その神さまの働きに促されて、導かれて、日本語の「行わせて」、英語の「act」、ギリシア語の「ἐνεργεῖν」＝神さまに導かれたわたしたち人間の行いが生み出されるのです。これら赤字たちをよ〜く見てみて、気づいたことはございますか？そうです。ギリシア語だけ同じ響きをもつ部分“ἐνεργ”が含まれていますね。ギリシア語の原文では、神さまの働きがエネルギーとして注がれ、わたしたち人間の内側から出てくる行いの中の根幹にそのエネルギーが含まれているというように理解することができますし、まさにそうだと言っているのです。

では、わたしたちに生きるエネルギーを注いでくださるお方、イエス・キリストという方はどのような方なのでしょう。そのことは与えられている聖書箇所を少し遡ったところ、フリピの信徒への手紙 2 章 6 節から 8 節に示されています。お読みします。

キリストは、神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは
思わず、かえって自分を無にして、僕の身分になり人間と同じ者になられました。
人間の姿で現れ、へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順でした。

神さまの独り子であるイエスさまが、神の身分を打ち捨て、人間と同じ者となり、それどころか、十字架というもっとも悲惨な処刑の仕方で殺されるほどの苦しみを引き受けてくださった。このわたしのために、このわたしたちのためにです。そしてそれは死に至るのですが、それで終わりではありませんね。今年主の年 2023 年のキリスト教の暦・カレンダーで、イースター「主の復活日」は 4 月 9 日で、その後の 50 日間は「復活節」としての日々をみました。イースターでイエスさまの復活を喜び、感謝する礼拝を献げたわたしたちは、その後もその感謝を憶える日々を過ごす期間として復活節があります。そして復活日から数えて 50 日目をペンテコステ「聖霊降臨日」として、イエスさまの弟子たちが祈っていたところに聖霊が注がれて弟子たちが福音を全世界の宣べ伝えることとなった、教会が生れる日として感謝し記念する礼拝を今年は 5 月 28 日に教会で献げました。その日以降は教会暦では聖霊降臨節という呼び方があります。聖霊が注がれ続けていることを感謝し憶える日々をわたしたちは今過ごしているのです。イエスさまの十字架の死によって、わたしたち人間の罪も死と共に葬られ、そしてイエスさまが復活されたことによって、わたしたちもまた復活の命に生きることができる、再び生き直すことができ、注がれ続けている聖霊によってその歩み続けることができるのです。

イエスさまはヨハネによる福音書の中で、次のように語っておられます。「わたしが父のもとからあなたがたに遣わそうとしている弁護者、すなわち、父のもとから出る真理

の霊が来るとき、その方がわたしについて証しをなさるはずである。」(15:26)。「…その方、すなわち、真理の霊が来ると、あなたがたを導いて真理をことごとく悟らせる。…」(16:13)。聖霊によって日々生かされるわたしたちは、何が本当に正しいことであるのか、何を大切にすべきなのか・生きる道しるべを示されて生きることができるのです。

今日与えられているフィリピの信徒への手紙は、獄中書簡と言われていて、使徒パウロが捕らわれの身となっていた際に書かれていたもので、聖書の別の箇所(コリントⅡ 11:16)で彼は言っています。「…投獄されたこともずっと多く、鞭打たれたことは比較できないほど多く、死ぬような目に遭ったことも度々でした。」(コリントⅡ 11:23)。そのような彼が救いの経験を知っており、弱さの中に働いて共に生きてくださるイエスさまと出会い、弱さを誇る信仰を与えられたのです(コリントⅡ 12:9)。そこには、わたしたちの中に共に生きてくださるイエスさまが確かにいてくださるのです。わたしたちには、わたしたちが生きるための力強いエネルギーとしてのイエスさまがいてくださるのです。このことを憶えて、感謝して、希望をもって共に歩むことのできるわたしたちでありたいと願います。

(2023 年 7 月 12 日)

(配付プリント)

.....
あなたがたの内に働いて、御心のままに望ませ、行わせておられるのは神であるからです。

(フィリピの信徒への手紙 2 章 13 節) NT p.363

“for it is God who **works** in you to will and to **act** according to his good purpose.”

~Philippians 2:13~

θεὸς γὰρ ἐστὶν ὁ **ἐνεργῶν** ἐν ὑμῖν καὶ τὸ θέλειν καὶ τὸ **ἐνεργεῖν** ὑπὲρ τῆς εὐδοκίας.

エネルギー

エネルギー

.....